



令和4年度

多北高 FRH 通信 第10号

令和4年8月19日(金)

多北高 FRH 推進委員会  
探究推進部

## 名大 MIRAI GSC・第2ステージ進出

今年度の名大 MIRAI GSC は、名古屋大学と東海地方の高校生による、理工系の高大連携の取り組みの一つです。講義や研究、発表などの3つのステージからなり、内容は高校での学びを超えたものを含みます。第1ステージは2日間で計6つの講義を受講し、質疑応答やレポートの提出をします。3日目はノーベル賞受賞者の野依良治先生を交えてのシンポジウムがありました。本校からは18名の生徒が応募し、その内9名が第1ステージ（全体で205人）に参加することができました。

### <第1ステージ>

#### ●1日目（6月11日(土)）

講義1 「植物のしなやかな生命力を支える情報分子たち」

生命農学研究科 教授 榊原 均先生

講義2 「化学でDNAを作る」

工学研究科 教授 浅沼 浩之先生

講義3 「放射光をつかった分光測定—なにそれ？物質を科学するための武器なんです」

工学研究科 教授 田淵 雅夫先生

#### ●2日目（6月18日(土)）

講義4 「現代の疾病、生活習慣病を複眼的に考える」

医学系研究科 教授 八谷 寛先生

講義5 「Oceans: guardians of the planet」

環境学研究科 准教授 Marc Andre Humblet 先生

講義6 「植物の巧みな環境応答 ～植物に欠かせない気孔の働き～」

理学研究科 教授 木下 俊則先生

#### ●3日目（7月2日(土)）

午前：受講生交流会（希望者のみ参加）

午後：野依 良治 名古屋大学特別教授「歴史的化学論文大賞」受賞 記念シンポジウム

記念式典

記念講演

パネルディスカッション

### <第2ステージ>

第1ステージ参加者のうちから全体で52名が、第2ステージ進出となりました。本校からは2名が進出し、それぞれ次の研究室で、研究することになりました。

★工学研究科 化学生命工学科 薩摩研究室

★理学研究科 物理学科 ナノ磁性・スピン物性研究室